病　院　だ よ り　　2020年6月号　第391号

昭和大学病院　検索

昭和大学病院附属東病院　検索

発　行　昭和大学病院、昭和大学病院附属東病院
発行責任者　昭和大学病院長　相良 博典
編集責任者　広 報 委 員 長　中村 清吾
〒142-8666 東京都品川区旗の台 1-5-8
ＴＥＬ：03-3784-8000（代表）

診療科長就任のご挨拶　呼吸器・アレルギー内科　田中（たなか）　明彦（あきひこ）

2020年４月１日付で呼吸器・アレルギー内科診療科長を拝命致しました。就任と時を同じくして新型コロナウイルス感染症（COVID-19）が拡大し、診療科長の責務を感じることがないほど未曾有な２か月が過ぎました。「就任の挨拶」ではありますが、この場をお借りして、COVID-19の最前線で働いた同僚に敬意を示し、様々な分野でサポートを頂いた全職員に感謝し、病診連携にてご迷惑をおかけした近隣の医療関係者に深謝いたします。

2020年４月１日付で昭和大学病院院長に就任した相良博典先生を微力ながらサポートし、城南地区の呼吸器およびアレルギー疾患の診療に貢献したいと考えております。

◆診療科長としての意気込みや、今後の展望

診療科としての目標は、**「呼吸器・アレルギー内科を受診する外来患者さんと入院患者さんに対して、呼吸器およびアレルギーすべての領域において最高水準の医療を提供すること」**です。当科が取り扱う主要な疾患は、癌（肺癌）、感染症（肺炎）、アレルギー（喘息）、その他（COPD、間質性肺炎）など多様であるため、個々の疾患に対して専門性を保つことが難しい領域です。目標の達成には、**多職種連携と病診連携の強化**とともに**現場で働く医師の環境づくり**が重要です。さらに、**若手医師の育成**が必要不可欠であり、これらを重点的に取り組んでいきたいと考えております。

まだ尚、浅学の身ではありますが、一意専心の気持ちで努めていきますので宜しくお願い致します。

【好きな言葉】

「　克己（こっき）　」

高校時代の部活（剣道部）の言葉です。つい何でも人と比較してしまう時代ですが、物事の本質は自分にあると解釈しています。

【プロフィール】

出身地　長崎県
1997年　昭和大学医学部卒業
2001年　昭和大学大学院卒業
2005年　昭和大学歯科病院内科　助手
2006年　University of Pittsburgh 留学
2008年　Harvard University, Brigham and Women’s Hospital 留学
2011年　昭和大学医学部内科学講座呼吸器・アレルギー内科部門　講師
2017年　同 診療科長補佐
2020年　同 准教授、診療科長

私達の強み　**麻酔科（ペインクリニック）のご紹介　No.1**

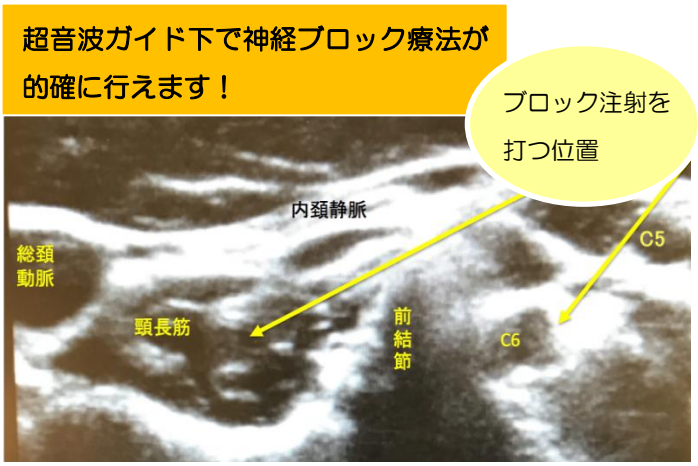
「顔面神経麻痺、突発性難聴の治療」

といえば

昭和大学病院附属東病院

へご紹介ください

神経ブロックの開始が早ければ早いほど回復します！



初診外来：月曜日～土曜日　8：30～14：00
※初診外来は予約不要です。
直接、東病院 1F 初診受付へお越しください。

【お問い合わせ】　医療連携室
医療機関専用回線 03-3784-8400

特徴１：　国内トップクラスの症例数【年間 約 3000 件】

神経ブロック療法による顔面神経麻痺・突発性難聴の治療は、当科では 30 年以上前からエビデンスを積み上げてきました。
顔面神経麻痺では、発症初期の ENoG による予後判定から、後遺症に対するリハビリテーションまで長期に渡って患者さんをフォローします。

特徴２：　最先端の超音波ガイド下神経ブロック

外来で行われる神経ブロック療法に、最先端高解像の超音波診断装置を併用することで、神経、血管、筋肉などの組織を高解像で映し出すことができ、薬液を注入する位置を明確にするとともに、成功率や安全性を高められます。また、最少量の薬液で、最大の効果を引き出すことができます。

特徴３：　神経ブロック療法による自律神経の調整

麻痺・突難によるストレスは、自律神経を乱すことが多く、治癒を遷延化させます。
自律神経を調整する神経ブロックにより、精神的ストレスの緩和までもが可能です。

トピックス　サンクス！グッドプラクティスパートナー（第２回）

当取り組みは、昭和大学病院・附属東病院において関係職種間での行動（臨床に関する事項）を相互にプラス評価することにより、関係部署との連携を良好にし、チーム力を高めることで患者さんにより良い医療を提供することを目的としております。

【看護部】から【放射線技術部】へのありがとう！	
放射線技術部　平野さんへ 新型コロナウイルス関連の対応など率先して行ってくれています。またコミュニケーション能力が高く、臨機応変に対応してくれるため、業務がスムーズに遂行されています。 【患者さんに与えた良いフィードバック】 待機時間が縮小され、患者さんが安心して検査を受けることができています。	放射線技術部　久保さんへ 異動後で環境に適応できていないスタッフのフォローをしてくれるなど、多職種の緩衝役となり関係を良好に保とうとする姿や職場環境をより良くするよう働きかけてくれています。 【患者さんに与えた良いフィードバック】 安全、安楽に患者さんが治療を受ける環境を提供できています。
【臨床検査技師】から【呼吸器内科医師】へのありがとう！	
呼吸器内科　楠本先生へ 新型コロナウイルスが流行しているこのご時世において危険とされてきた呼吸器機能検査の現場に実際に足を運んでいただき、現状を見たうえで検査の縮小をいち早く実行していただきました。現在では全ての科が検査を縮小しています。 【患者さんに与えた良いフィードバック】 30 分程度かかる検査が 10 分程度に縮小され、患者さんの在院時間が短縮され感染のリスクが減りました。	呼吸器内科　渡部先生へ 睡眠障害の診断に用いられる PSG 検査にて、病室のレイアウトや初めての小児検査における睡眠導入剤の処方について相談したところ、迅速に対応して下さいました。また検査に関する相談や要望についていつも親切に対応して頂いています。 【患者さんに与えた良いフィードバック】 渡部先生に迅速にご対応頂いているため、患者さんが安全かつ安心して検査を実施できています。
【循環器内科医師】から【理学療法士】へのありがとう！	
理学療法士　鶴田さんへ 手術後の患者さんの食欲が低下し、リハビリが上手く進まなかったため、鶴田さんはリハビリの合間に患者さんの話を傾聴したところ、食欲低下の要因が創部疼痛ではないかと考え医師に報告してくれました。 【患者さんに与えた良いフィードバック】 患者さんは適切な鎮痛薬が処方されたことで食欲が改善し、リハビリにも意欲的になり回復と退院を早めることができました。	理学療法士　松本さんへ 心不全加療中で心不全の原因が不明であった患者さんに対し、松本さんがリハビリ中の末梢神経障害に気づき、医師に報告してくれました。 【患者さんに与えた良いフィードバック】 松本さんの報告のおかげで、心不全の原因が明らかになり、適切な治療を実施することができました。そのため、患者さんの治療が迅速に適切に実施され早期回復に繋がりました。

日頃よりチーム医療にご協力頂きありがとうございます。
今後とも、よろしくお願いいたします。

お知らせ

昭和大学病院・昭和大学病院附属東病院へのご支援の御礼

新型コロナウイルス感染症の治療にあたる医療従事者に対して、多くの皆様から労いのお言葉や心温まるご支援を頂戴しております。この場をお借りし、皆様からのお気遣いに心より御礼申し上げます。

ご提供いただいたものを、スペースの都合上一部となりますが、紹介させていただきます。

今後も皆様からのご支援を力に変え、一丸となって引き続き院内感染防止に取り組み、かつ安全・安心な医療の提供に努めてまいります。皆様からのご支援に対し、重ねて御礼申し上げます。

ご支援ありがとうございます！

豊田自動織機様より
フェイスシールドをご提供
いただきました

昭友商事株式会社より
コーヒーとお菓子をご提供
いただきました

ホテルオークラ東京様よりカレーを
ご提供いただきました

株式会社クレイジーキッチン様
よりお弁当をご提供いただきました

戸田建設株式会社様より
マスクをご提供いただきました

北海道バルラベンダーキッチン様
よりお弁当をご提供いただきました

ドミノピザ様よりピザを
ご提供いただきました

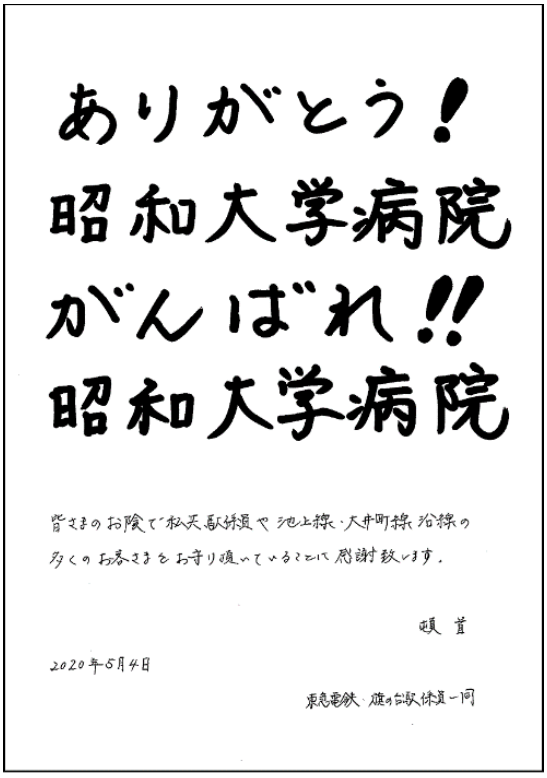
お知らせ

東急電鉄 旗の台駅 様より当院への激励のお手紙

当院の最寄り駅である、東急電鉄旗の台駅様より、当院への激励のお手紙を頂戴し、職員一同心より感謝申し上げます。

今後も地域に根差した地域中核病院としての役割を果たしつつ、日々新型コロナウイルス感染症の治療に取り組み、引き続き安全・安心な医療の提供に努めてまいります。

お心遣いに対し、この場をお借りして御礼申し上げます。



お知らせ

医師の配属・異動・退職について

新規配属

【新規採用】2020年６月１日付

●糖尿病・代謝・内分泌内科　小林亮平

●泌尿器科　中神義弘

【附属施設から】2020年６月１日付

●放射線科　宮上修（江東豊洲病院放射線診断科から）

●小児科　小野貴広（横浜市北部病院小児科から）

【学外研修から】2020年６月１日付

●救命救急科　鈴木恵輔

異動

【附属施設へ】2020年６月１日付

●小児科　八木直美（横浜市北部病院小児科へ）

●小児科　高見堂正太郎（横浜市北部病院小児科へ）

●皮膚科　青木道（横浜市北部病院皮膚科へ）

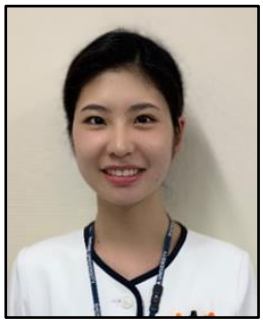
●放射線科　三好布季子（江東豊洲病院放射線診断科へ）

退職

2020年５月31日付　●精神神経科　平田亮人

羽ばたけ期待の医療人　No.20「薬剤部」

今月は「　**薬剤師**　」の**宗友咲子**（むねとも さきこ）さんをご紹介いたします。



薬剤師
【宗友（むねとも）　咲子（さきこ）さん】

薬剤師を志した理由・昭和大学病院を志した理由を教えてください。

小学生の時に祖父母が抗がん剤治療を行っており、体の中で薬がどのように効いているのか興味を持ち、薬の勉強をして人の役に立ちたいと考えたのが薬剤師を目指したきっかけです。

昭和大学病院は多職種との連携が特に充実しており、幅広い知識を吸収できると感じました。また入職１年目から症例検討や薬物治療計画を通じて自ら考える力を身に付けることができる体制が整っており、そのような環境で経験を積みたいと思い希望しました。

現在、どのような業務をしていますか。

主に薬剤部でセンター業務を行っています。センターでは先生方のご指導のもと、調剤、注射業務、院内製剤及び抗がん剤の調製等を行っており、現在はすべてのセンター業務において１日でも早く１人立ちできるよう日々取り組んでいます。また、調剤業務では外来患者さんに服薬指導を行っています。

今後、どのような薬剤師を目指しますか。

今後は病棟業務にも携わるため、患者さん一人ひとりの多様な情報を適切に収集し、薬のプロフェッショナルとして専門性を発揮し、薬物治療に貢献したいです。また、多職種から「薬について相談したい」と思って貰えるよう信頼関係を築きたいです。そのために今は基礎知識を始め多くのことを得られるよう日々勉強し、その知識を活かせるよう患者さんや多職種とのコミュニケーションを積極的に行いたいと思います。

お知らせ　七夕飾りを設置します

昨年に引き続き、今年も七夕（７月７日）頃に、病院玄関付近に七夕飾りを設置いたします。
ご来院の際には、ぜひ短冊に願い事を書き、みなさまで笹に飾りつけをしてください。

～昨年の様子～

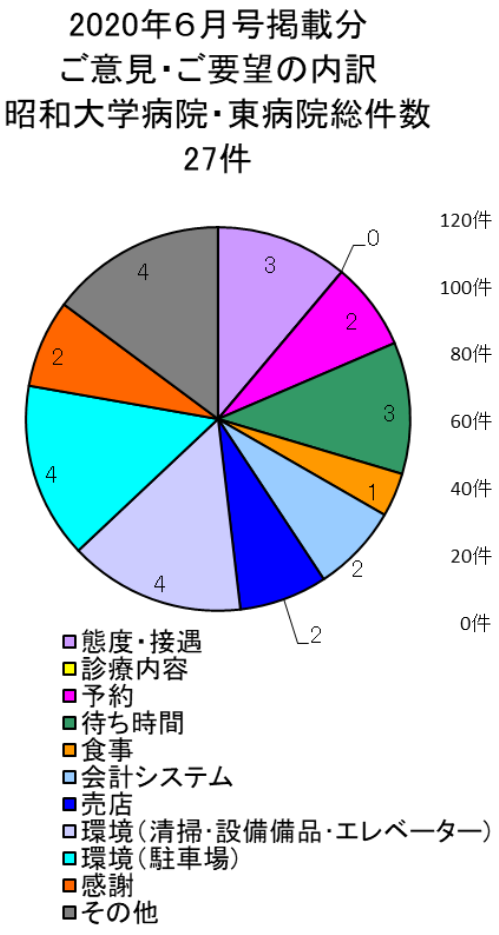
中央棟

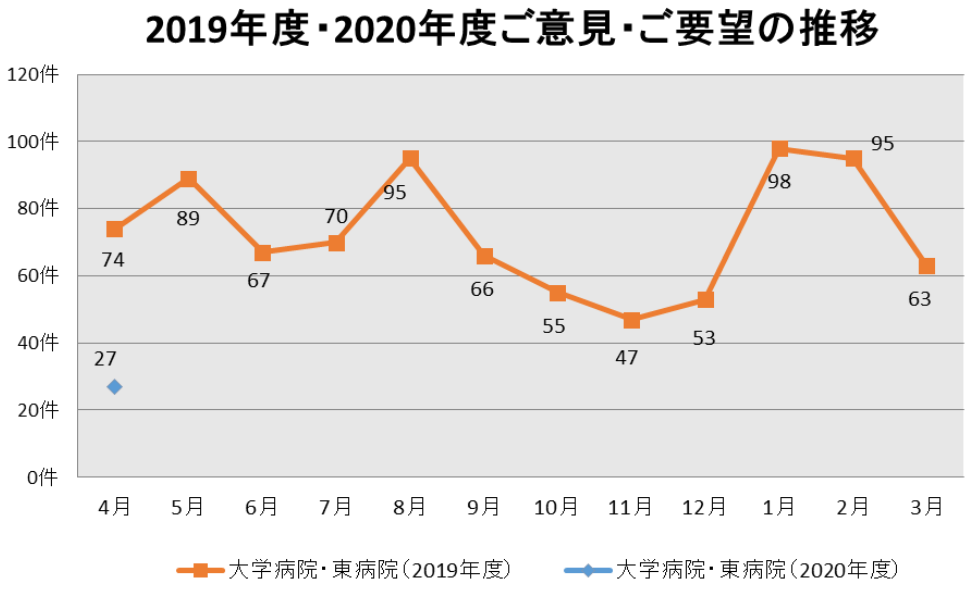
入院棟

ご来院の際には、
ぜひお立ち寄りいただき、
短冊に願い事を書いてみて
ください！

患者さんのご意見・ご要望

ご意見・ご要望	回答	回答部署
報道をはじめとする外部の喧騒がうそのように、静かな病院内で冷静な受付スタッフの皆さん。いつもと変わらぬ医師・看護師の皆さん。 このような空間が保たれていることに、昭和大学病院の全ての皆様に感謝申し上げます。皆様、そしてご家族が安全に安心してお過ごしできますよう、心よりお祈り申し上げます。	お褒めの言葉を頂戴し、とても励みになります。皆様が健康であることが私たちの心の支えでございます。 これからも職員一同、安全で安心な医療の提供に向けて精進して参ります。 ありがとうございました。	医事外来課
エスカレーターのスピードが速くて怖いです。いろいろな所でスピードをゆっくりにしてくれているので、そうして欲しいです。	貴重なご意見ありがとうございます。ご不便おかけして申し訳ございません。 現在設置しているエスカレーターは低速運転となっており、現状より速度を遅くすることは設置機器ではできません。今回頂いたご意見を基に、今後エスカレーターを更新する場合に検討させて頂きます。ご不便おかけしますがご協力の程、よろしくお願い致します。	施設課





お知らせ　昭和大学のホームページがリニューアルいたしました

2020 年 4 月 1 日より昭和大学のホームページがリニューアルいたしました。

これまでより、さらに見やすく、明るいホームページになっております。ぜひ一度ご覧ください。

病院のホームページは 2021 年度のリニューアルを予定しております。

（URL：https://www.showa-u.ac.jp/）

リンクはこちらから

編集後記　脳神経外科　鷲見（すみ）　賢司（けんじ）

新型コロナウイルスが世界中で猛威を振るっています。日本でも再び大きな波がやってくる可能性は十分にあります。このウイルスとの戦いにおいて、新たな生活様式をはじめとして、私たちは変化しなければいけないのかもしれません。一方で、どんなことがあっても変化しないものもあるかと思います。自分を大切にすること、目の前の大切な人を守ること、冷静に判断し他者に思いをはせること、変化と恒久のバランスを保ちながら、医療・介護従事者だけでなく、ライフラインや物流・インフラを守る人、苦境の中で自粛や手洗いに専心する人、様々な政策を提言する人など、社会や国・世界全体で協力して、克服への道を少しずつ歩んでいる途上であると信じています。

昭和大学病院･附属東病院の理念

- 患者本位の医療
- 高度医療の推進
- 医療人の育成

昭和大学病院・附属東病院の基本方針

- 患者さんと共にチーム医療を実践する。
- 特定機能病院及び地域の基幹病院として高度急性期医療を推進し、質の高い医療を提供する。
- 教育病院としての機能を充実し、質の高い医療人の育成を行う。
- 人間の尊厳及び人権を守りつつ、高度な臨床研究を実践する。

※記事見出しの色分けについて

病院だよりでは、見出しに色分けをすることで読者の皆様が読みやすいよう工夫をしております。

黄色見出し：患者さん、患者さんのご家族向け

青色見出し：医療関係者向け

緑色見出し：医師の配属・異動・退職について

病院広報委員会委員：　稲垣 克記、大江 克憲、岡崎 靖子、五藤 哲、佐々木 仁美、嶋村 弘史、鷲見 賢司、富田 英、中村 清吾、水庭 隆史、山岸 昌一、吉田 仁、渡辺 愛理、渡邊 聡、渡邊 裕之（50 音順）